

2/18 復興を願い「水戸の梅まつり」が開幕!

東日本大震災から復旧し、全面開園となった偕楽園で、「水戸の梅まつり」が開幕。今年は寒さにより、梅の咲き具合が例年よりも遅いということでしたが、復旧した偕楽園を見ようと、開園前から多くの人が集まりました。開園時には、水戸の梅大使が笑顔で迎え、一人一人に記念品を手渡しました。

また、田鶴鳴梅林では、原発事故による風評被害を払拭しようと、名産品などをそろえた「がんばっぺ!茨城・福島100円試食店」が開催され、たくさんの家族連れで賑わっていました。



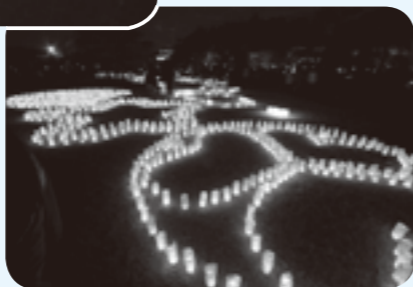
2/25 歴代の梅むすめ・梅大使が一堂に

今年で50代目となる「水戸の梅大使」。これを記念して、歴代の梅むすめ・梅大使総勢約150名が一堂に会しました。会場は20代から70代の着物姿の梅むすめたちであふれ、華やかな雰囲気になりました。これからも水戸のPR・イメージアップを担っていきます。



3/3 幻想的な夜の偕楽園「夜・梅・祭」

園内をライトアップして夜の観梅を楽しむ「夜・梅・祭」。今年は「絆」をテーマとして、キャンドルで「きずな」の文字などをつくって震災復興の願いを込めました。このほか、茶会や花火など、さまざまなイベントも行われました。来園者は、幻想的な灯りが並べられた園内を散策しながら、昼間とは違った偕楽園を楽しんでいました。



水戸の梅まつり開催中!ぜひお越しください

できごと

まちの話題

掲載した写真をご本人に差し上げています。ご希望の方は広報広聴課までご連絡ください。

2/18 第10回 全国藩校サミットin水戸

藩校所在都市で毎年行われている、全国藩校サミット。10回目の今年は、過去最大の規模で開催され、各地から藩校関係者が水戸に集まりました。

弘道館では、藩校教育の伝統と精神を見つめ直し現代に活かしていくことを誓った「水戸宣言」を採択。また、水戸芸術館では、この日のために練習を重ねてきた、市民や五軒小学校の児童による「弘道館記」や「偕楽園記」の素読も披露され、漢字文化の継承への取組みを全国に発信しました。



五軒小学校の児童が素読を披露



旧藩当主が一堂に会し、水戸宣言を採択

2/18 水戸藩! 味な城下町まつり

水戸藩開藩400年を機に交流を深めている水戸藩領内の20市町。引続き交流を深め、にぎわいづくりを図るため、「水戸藩! 味な城下町まつり」を開催しました。

会場の水戸芸術館広場では、わがまちの自慢料理や物産の販売、郷土芸能などを披露。多くの家族連れなどで賑わいました。訪れた人は「どちらの料理もおいしかった。それぞれの郷土の味を堪能しました」と話していました。



3/4 水戸ホーリーホック J1昇格に向けて白星発進

Jリーグ2部が開幕し、ケーズデンキスタジアム水戸で、水戸ホーリーホック対横浜FC戦が行われました。2年目となる柱谷監督のもと、元日本代表の市川大祐選手など、10名の選手が新たに加入し、J1昇格を目指しています。

寒さを吹き飛ばす5,817名の熱い声援のなか、ホーリーホックは2対1で逆転勝利。スタジアムを青く染めたサポーターとともに、これからの試合を全力で闘っていきます。

